



プログラム

第11回 東アジア地方政府会合

The 11th East Asia Local and Regional Government Congress

2022

● **11/23(水)** ————— トランスラグジュアリーホテル

14 : 00 -

ハイレベルミーティング (バイ会談)

18 : 30 - 21 : 15

オープニングセレモニー・交流会

グドゥン・サテ
(州庁舎前広場)

2022

● **11/24(木)** ————— トランスラグジュアリーホテル

08 : 30 -

開会式

09 : 00 - 11 : 20

首長級ネットワーキングセッション
サブセッション (実務者討議)

テーマ1 : 産業

テーマ2 : 観光

13 : 00 - 16 : 25

メインセッション (首長討議)

テーマ1 : 産業

テーマ2 : 観光

16 : 25 - 17 : 40

総会

17 : 40 - 18 : 00

記念撮影、代表記者会見

19 : 30 - 21 : 10

閉会式

(西ジャワ州政府によるスペシャルパフォーマンス)

2022

● **11/25(金)** ————— バンドン市内

08 : 30 - 12 : 00

エクスカーション

(アジア・アフリカ会議博物館、ヌ・アート彫刻公園)



荒井 正吾

奈良県知事

日本において国際交流が最も盛んであった時代として、今から約1300年前の奈良時代を挙げることができる。奈良時代は、中国や韓国を始めとする多数の国々との交流を通じ、日本の国の基礎が築かれた時代である。奈良時代、国の中心であった奈良県において、そのような歴史への感謝の気持ちを表し、皆様のご理解とご協力のもと、2010年に東アジア地方政府会合を設立した。

当初は、3カ国19地方政府による提唱から始まったが、今や、7カ国75地方政府のご参加をいただくまでに発展した。

本会合は、各国地方政府に共通する行政課題について、真摯な議論を通して、行政能力の向上を図るとともに、参加者の相互理解や交流を深め、平和で安定した東アジアの発展に貢献することを目的としている。

第11回目の開催となる今回は、ASEAN 地域で初めて、インドネシア西ジャワ州において開催される運びとなった。開催地である西ジャワ州バンドン市は、1955年に第1回アジア・アフリカ会議が開催され、地域の経済発展と文化的協力を望む多くの人々が集った場所である。それから長い時間が経過したが、今ここに東アジアの繁栄と平和を望む多くの人々が、各国地域より集まっている。我々を取り巻く環境は、当時と比較すると大きく変わったが、本会合において、各国の地方政府が対話を重ね、努力を継続することにより、素晴らしい未来を共につくっていくことができると信じている。

西ジャワ州政府においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受ける中で、開催にご尽力いただいたことに、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

本会合が実り多いものとなることを心より祈念し、会合事務局である奈良県を代表してのご挨拶とさせていただきます。



Mochamad Ridwan Kamil

西ジャワ州知事

西ジャワ州政府と州民を代表し、このたび第11回東アジア地方政府会合ご参加のため、インドネシア西ジャワ州バンドン市へお越しいただいた皆様を、心より歓迎する。

西ジャワ州は、約4,900万人の人々が住んでいるとともに、様々な美しい景色と非常に多くの天然資源に恵まれ、観光分野で大きな可能性を秘めている。また、1955年に開催されたアジア・アフリカ会議を通じて、アジアとアフリカの人々に自由と復興の息吹を与えた、歴史的瞬間が起きた地でもある。

近年、地方政府が果たす役割は、ますます世界的に注目を集めている。地方政府は、住民のために、包摂的で持続可能な環境を醸成するという重要な役割を担うとともに、地方に即した政策の実施を通じ、必要不可欠な幅広い住民サービスの実施をするという責務を負っている。これらの重要な役割を果たすために、地方政府間の協力と相互理解を推進し、互いの長所と短所をよく知ることで、戦略的パートナーシップを実施することができると考えている。

東アジア地方政府会合は、地方政府が共通の理解を増進し、各地域における最善の方法を共有する、非常に戦略的なプラットフォームである。近い将来のより良い協力のために学び、議論すべきことはたくさんある。本会合では、「ポストコロナ経済：地域産業と地域協力の振興」を大きなテーマとして掲げ、具体的には産業と観光分野について、議論を行うこととしている。本会合を主催できることを大変嬉しく思っており、アジアが世界の未来と人々の繁栄のための優れた中心地となるために、今後行うべきことについて、議論を交わしたい。

協力と連帯の精神をもって、本会合が成功すること、また、新型コロナウイルス感染症からの包摂的な復興を通じて、アジアが世界の未来に繋がることを祈っている。

